

## XII. ボランティアセンターの概要

### 1. 立教大学とボランティア活動の歩み

ボランティアセンターは、立教大学建学の精神であるキリスト教に基づく教育を具現化するヒューマン・ムーブメントの一つとして、押見 輝男 総長(当時)の提唱のもと、2003年6月に設立された。

2016年には、立教サービ斯拉ーニング(RSL)センターを設立。ボランティアセンターとの相互連携を通じて、単に正課科目の運営に留まることなく、立教ラーニングスタイルの意義に照らした社会における体験的な学び(社会連携教育)を正課・正課外の両面から一体的に推進できるようになっている。

また、本学にはボランティアセンターの誕生以前から長く実り豊かなボランティア活動の歴史と伝統がある。「道を伝えて己を伝えず」と評される創立者ウィリアムズ主教の生き方は、「仕えられるためにではなく仕えるために」生きるキリスト者の模範として立教のボランティア精神の原点を示している。さらに、アメリカ聖公会の宣教師であり、本学の教授でもあったポール・ラッシュ博士の清里における自然・農村・青年教育を結びつけた働きは、ボランティアという言葉がまだ使われる以前に、真のボランティア精神を育成するための働きであった。ボランティアの伝統は学生たちの中に脈々と生き続けており、多くの学生キリスト教団体、セツルメント、各種子ども会、ボランティアグループが活発な活動を展開する他、レディスクラブなど卒業生による活動も盛んである。立教学院内の小学校、中学校、高等学校の各校もボランティア活動の豊かな伝統に立ち、様々な分野で活動を続けてきた。

ボランティアセンターでは、このような歴史と今の活動を結びつけながら、学院全体としてのボランティア活動を展開してゆくお手伝いができればと望んでいる。

### 2. ミッションステートメント

立教大学はキリスト教に基づく建学の精神を具体化したものの一つとして、「共に生きる」ことを重視しています。立教大学ボランティアセンターは「共に生きる」を礎に、学生が他者との関わりや社会的な課題に取り組むことを通して、人間としての成長とよりよき社会の実現を目指す意思の育成を図ります。

### 3. 基本方針

ボランティアセンターでは、上記のMISSIONの下、下記のような支援を行っている。

#### ① 学生個々の支援

一人ひとりの学生に寄り添い、ボランティア活動への理解や参加・参画を促進する。専門性を備えたボランティアコーディネーターを中心に、社会のニーズと学生のニーズをきめ細かくコーディネートし、多種多様な情報の中から適切な情報提供とアドバイスを行う。

#### ② 多様なニーズに対応した体験機会の提供

急変する社会のニーズやグローバル化する世の中の動きに素早く、かつ、柔軟に対応し、様々な体験の機会を提供する。

#### ③ 独自のプログラムや学びの場の提供

学生が現場に足を運び、自分の目で確かめ、体験しながら学び取っていく、主体的な学びができるボランティアセンター独自のプログラム・プロジェクトを実施する。

また、授業の実施・協力などを通じて社会の現場を知る機会を提供する。

#### ④ 学生ボランティアサークルの支援

立教大学でボランティア活動を行う学生サークルをつなげ、支援する。

#### ⑤ 立教大学他部局との協働

学内の様々な学生支援部局や立教サービ斯拉ーニング(RSL)センターとの協働・連携を推進し、多角的に学生をサポートする。

#### ⑥ 地域連携

立教大学周辺の地域(池袋・新座)の課題に向き合い、共に連携する。